

**合格に必要な情報だけを詰め込んだ
TAC受講生限定のオリジナルテキストです。**

「何について学ぶのか?」「何が重要か?」がわかりやすく明示されているので、初学者の方にも確実に理解できるように工夫されています。さらに、各科目の「核」となる部分や出題されやすい事項を、メリハリをつけて整理しており、受講生のみならず最短距離での合格を効率よくつかみとることができるよう編集されています。



第7章

自由権・3(人身の自由)

人身の自由の保障がなければ自由権そのものが存在し得ません。そこで、人身し、不当な逮捕・監禁など、恣意的な刑罰権の行使を徹底的に排除しています。

1. 基本原則

❖ 彙文チェック！

何人も、いかなる奴隸的拘束^三も受けな
ては、その意に反する苦役^四に服せられ

本条は、私人間にも直接効力を有します。

何人も、法律の

.....

③ 適正手続の範囲としては、①手続^憲が法律で定められること、②法律で定められた手続が適正であること（告知と聴聞など）、③実体^もも法律で定められなければならないこと（罪刑法定主義）、④法律で定められた実体規定も適正であることが考えられます。

■ 図表で整理【適正手続の保障】

	法定	適正
手続	(1)◎	(2)○
実体	(3)○	(4)○

を、デュープロセス (due process of law) といい、さらに、実体 (実体的デュープロセス) の③法定・④適正も、憲法の要諦だと解するのが多数説です。

① 重要度

より効率的にメリハリの効いた学習をするための指針として、学習の優先順位や出題可能性が高いテーマから順に重要度ランクを付けています。

④ 図表で整理

法制度には「原則・例外」や「多数の項目」が設けられています。文字だけで覚えようとすると、知識が混乱することもあります。そこで有効なのが、知識の表化・図式化です。重要ポイントのまとめとしてわかりやすく整理されていますので、本文の内容を再確認できるとともに、理解の度合いが深まります。

② 条文チェック!

条文は法律学習の出発点です。行政書士試験攻略のためには欠かせないのが条文の知識です。合格のために必要十分な条文をピックアップして、掲載しています。

⑤ 判例を読む

行政書士試験では、条文とともに最高裁判所の判断である判例の知識・理解を問う問題が多く出題されます。この「判例を読む」で事案の概要・争点・判旨を行政書士試験に必要な限度でピックアップし、効果的にインプットできるようになっています。試験対策もより万全なものとなります。

③ 過去問を解こう

試験で得点するためには、過去問対策が重要です。過去問で出題されている知識をどれだけ確実に身につけておけるかが、合否を左右するといっても過言ではありません。過去問の出題箇所が一目でわかるようになっていますので、「過去問集(トレーニング)」と合わせて学習を進めることにより強固な知識が身に付きます。

⑥ 用語解説

法律の学習においては、法律専門用語など、普段聞き慣れない言葉が多く出てきます。法律の学習に必要な不可欠な重要用語・概念は、その都度解説していきます。

リニューアル !!

★より見やすいレイアウト
★よりわかりやすい内容

⑦ 記述問題を解いてみよう

民法・行政法の基本テキストでは該当箇所に出てきた条文・判例知識を前提にした記述式の基本的な参考問題を載せています。その知識がどのような形で記述式の問題として問われるかわかりますので、記述式対策がしっかりと身に付くだけでなく、より一層の知識の定着も図れます。